

VIVID LETTER

No.29

発行 2022/9/1

事務所拡大の新たな挑戦	1
研修報告	2
各事業所報告	3
ひとこと通信	4
報告・今回のいちおし	4



“VIVID”は高次脳機能障がい者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィ)
〒161-0033
新宿区下落合 4-20-16 ヲルビ目白 103
TEL : 03-5849-4831 FAX : 03-6908-3364
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp
HP <http://www.vivid.or.jp>
発行責任者 北村とし子

前年度をふりかえつつ、今年度に期待を込めて 事務所拡大の新たな挑戦

法人の会員をはじめ、日頃より惜しまず様々なご協力を頂いている皆さまへの報告です。

過日、第15回通常総会を無事に終えることができました。

総会では例年のごとく第1号議案「事業活動報告」をはじめとし、次年度の事業活動計画、決算・予算など第6号議案まで参加者全員の賛同を得ることができました。とはいえ積み残した課題もあり、今年度も試練の1年になりそうです。

法人の基幹事業である、就労継続支援B型事業所「フレッシュスタート目白(略称:フレスタ)」については、自治体や同業事業者から一定の評価を受け登録利用者数は、やや横ばいながら確保できています。事業の安定化には利用者増を望みたいところ、継続した課題に作業場所の狭隘、支援員の不足が挙げられます。

第3次長期計画(2019~2023年)でも事業所の拡大をあげていたところ、当事業所と同じ建物の2階に空室があり、計画の実行と作業所の拡張のために、臨時理事会を開催し賃貸契約を行い、事業所を拡張することを決定しました。冒険ではありますが、みなさまに期待をもって見守って頂きたいと思います。

また、人員についてはB型としての配置基準は当然、満たしてはいるものの、利用者の特性として生活上の課題を持つ利用者も多く、また、法人

特定非営利活動法人 VIVID
代表理事 北村とし子



1階の事務室部分を縮小し作業室にあて、同じ建物の201号室を事務室として利用することで事務室を広げます

の方針として個別支援の充実をとの思いから慢性的に支援員不足が続いています。相談支援事業についても同じことがいえます。当然ながら支援員増は法人の収支と関係し、いくなれば安定した経営に影響を与えかねません。利用者支援の報酬は支援の内容や労力と連動していないことが実に悩ましい。

昨年度に引き続きコロナ禍、加えてロシアのウクライナ侵攻、異常気象等によると思われる円安、歯止めがかからない物価高。弱り目に祟り目。弱者ほどその影響を受けています。

コロナ禍でいえば予想していたかのように第7波の到来。行動規制のあり方に賛否両論あるようです。「経済の方が命より重い」という議論が公然と語られるようになったのはちょっとビックリでもあります……。

(次頁に続く)

利用者の多くは何かしらの疾患があります。今年度から利用者に「自己健康管理」の必要性の認識を高める狙いに「訪問看護」の導入を試み始めました。成果が楽しみです。

相談支援事業所共々、支援員のチームワークで乗り切ってまいります。
引き続き、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

「毎日が事件」の我がフレスタ。今年度もさまざまなことに振り回される1年になりそうです。

2022 年度収支予算・更正の報告

8月9日に臨時理事会を開催し、上記の通り現在の事業所がある同じマンション 201 号室の契約を決定しました。フレスタの事務室として利用する予定です。

それに伴い、定款第 41 条 2 項に基づいて、理事会で予算の追加・更正を行いました。同 3 項に基づく会員のみなさまへの報告を、この紙面を借りて行います。

主な更正内訳は、201 号室の契約費用・家賃、その他通信・光熱費等に係る費用の約1,272千円を上乗せしたものです。

詳細は、右の QR コードをご覧ください。

主たる事務所は 103 号室のままですので、住所・電話番号などはこれまでと同じです。引き続きよろしくお願いいたします。
(事務局長:金尾敏恵)



2021 年度決算報告、事業報告、2022 年度事業計画はホームページをご覧ください。

研修実施報告

コロナ禍で、会場に集まる形式の外部研修がめっきり減り、オンライン研修が増えています。昨年 2 月に、当法人では東京都社会福祉協議会の講師派遣事業を利用し、全職員で「社会モデル研修」を受講しました。こちらも、従来は講師が事業所に出向いてくれるのですが、今回は ZOOM を利用して講義を受けるオンライン研修となりました。

この研修で教わった「社会モデル」とは、特定の人たちの困難の原因を社会に見出す考え方です。そして、原因を個人の特性に見出す考え方を「医療モデル」と言います。

例えば、車イスユーザーが階段の先にあるお店に入りたい場合に、「医療モデル」では、本人がリ

ハビリをして階段を使えるようになることを目指しますが、「社会モデル」では、店にスロープやエレベーターを設置するなど、社会・環境を変化させることを考えます。

障がい者支援をするうえで、社会モデルの考え方は非常に重要です。今回、職員全員が同じ考え方を共有できたので、今後の活動で具体的に活かしたいと思います。

さて、今回のオンライン研修。「感染症により、密集する場所で研修を行うことが困難」という状況に対して「従来の研修のやり方を変化させ、オンライン研修という方法を編み出す」というのも「社会モデル」ですね。
(研修担当:遠藤伸)

就労継続支援 B 型事業所 フレッシュスタート目白

フレスタの活動風景をお届けします。(管理者:遠藤伸)



創作活動

月に1度の創作活動。
オリジナルうちわ、ノート
作り、和紙でランプ作り
など行いました。



防災訓練

事業所のある地区の避難場所
まで、昨年とは別ルートで歩
きました。
いざという時にたどり着ける
ように、道順を確認します。車
椅子の体験試乗も行いまし
た。



請負作業

フレスタで行っている請負
作業を紹介します。

4月から、週1回、近隣の
「目白ヶ丘幼稚園」の清掃を
行っています。清掃作業は初
めてですが、丁寧にを行うよ
うに心掛けています。
「環境まちづくりNPOエコ
メッセ」からは、着物のほど
きを不定期で請け負ってい
ます。



幼稚園清掃



着物のほどき

ウエスづくり

売れ残りの衣服をウエス
用にカットして販売(写真)
しています。
「生活クラブ保育園ぽむ
・保谷」には
A6サイズ
にカットし
て寄付をし
ています。



請負やウエスづくりの作業を通じて、
つながりができることが嬉しいですね。

高次脳機能障害相談支援 VIVID

高次脳機能障害者連絡会 本格始動に向けて

新宿区内の高次脳機能障がいについての相談が、当事者だけでなく行政関係者からも寄せられます。NPO 法人 VIVID が「高次脳機能障害者支援事業」を2019年まで新宿区から受託してきた実績があつてのことで、区内での支援の一端を担っているのではと思います。

高次脳機能障がいになる方の8割は脳血管疾患が原因ですが、65歳以下でも介護保険の対象となるため、障害福祉の対象として顕在化しにくいという現状があります。障害者福祉サービスを利用した方がよい場合も、高齢者福祉の対象

に紛れてしまうことで適切な支援を受けられないことがあるわけです。

昨年度からは、新宿区立障害者福祉センターが同事業を受託しており、準備期間を経て、今年度より本格稼働となります。事業の一環で発足した新宿区高次脳機能障害者支援者連絡会で、相談や啓発が充実していくように、今後もしっかり協力していこうと思っています。

(管理者・相談支援専門員:太田三枝子)

ひとこと通信

フレッシュスタート目白（フレスタ）の利用者さんのコーナーです。

私は、フレッシュスタート目白に通うようになって4年を迎えようとしています。病気が原因の中途全盲ですが、作業所での作業はいろんな種類の作業をして嬉しいです。

自主製品を作るビーズ作業では、メガネチェーンなどを作製しています。作製はワクワクしながら取り組んでいます。最初は小さなビーズの穴に針を通していましたが、難しいので針を固定して、そこにビーズの穴を通していく方法に切り替えました。針を固定する道具は、スタッフの方が作ってくれました。補助具は、私にとってなくてはならないものです。

チラシ折りの作業もありますが、真ん中で二つ折りにするのは難しいので、チラシを押さえるように固定し、二つ折りにする補助具も

同じ作業所の利用者さんが作ってくれました。

フレッシュスタート目白は、とても大切な場所です。通うことができ感謝しています。

作業所内での目標は、歩くときに、できるだけ周りに心配させないようになりたいです。

私の趣味は音楽鑑賞です。特にドリカムの曲が好きです。

（匿名希望）



ビーズでメガネチェーンを製作中。箱に上向きの針が挟んであり、それにビーズを差し込んでつくります

ご寄付の報告

この紙面を使って、ご寄付の報告を行っています。

●VIVID へのご寄付

VIVID LETTER 前号の報告後・2022年2月1日～7月31日までいただいた寄付金の合計は、延べ27人、264,000円でした。

●フレッシュスタート目白へのご寄付

フレスタは、毎日、たくさんの品物をご寄付いただいています。おかげさまで、リユースショップは、毎日、品物でいっぱいです。

2月69件、3月100件、4月144件、5月168件、6月123件、7月93件でした。

大勢のみなさまのご厚意に支えられていることに感謝いたしております。

ご寄付のお願い

ご協力はいつでも受け付け中！
よろしくお願いします。

【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店 普通 7854639
ゆうちょ銀行 記号 10130 番号 91768901
他金融からのお振込みの場合
店名 〇一八（ゼロイチハチ）店番 018
普通 9176890

【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312
名義・加入者名はいずれも特定非営利活動法人 VIVID

今回のフレスタいちおし 雑巾・刺し子

最近、針仕事を作業の一つにしています。

商品としてのグレードに届いてなかったところから、ちょっとずつうまくなり、商品として出せるようになってきました。

何をつくっているかというと、雑巾と刺し子。

雑巾は、縫い終わっても、基準に達してなかったら縫い直し！です。



店に出すとすぐ完売の雑巾

刺し子は、いまはコースターのみで柄の種類も限られていますが、イラストの得意な人のデザインで種類を増やす予定です。



刺し子のコースター

雑巾は1枚30円

刺し子のコースターは1枚250円

編集後記

このLETTERがお手元に届くころには、新しい事務所に入居している予定です。少し広くなった事務所にぜひお立ち寄りください。（金尾）